



高々と、「そ〜れ!!!」

～片貝まつり 伝統の筒引き～

9月9日(木)、片貝町内では若連合と片貝煙火協会による伝統行事「筒引き」が行われていました。この筒引きでは、各町内において若連合のみなさんの威勢のいい掛け声とともに「馬簾(ばれん)」の演舞が披露されます。沿道の観客からは歓声とともにアンコールの声があがり、盛り上がりを見せていました。

●今月の主な内容

- 片貝まつり 2～3
- 市の財政を見てみよう 4～6
- JRとの共生策(案)にご意見を 7
- ごみの減量・環境 12
- 子育て・健診・お知らせ 13～15

片貝まつり



四尺玉花火 (9日)



9月8日(水)〜10日(金)、片貝まつりが行われました。8日は雨のため一部行事が実施できませんでしたが、9日・10日は天候に恵まれ、おおぜいの人で賑わいました。
まつりを盛り上げる威勢のいい掛け声と、打ち上げる人たちの思いの詰まった花火は、今年も訪れた観客を魅了していました。



四尺玉花火 (10日)

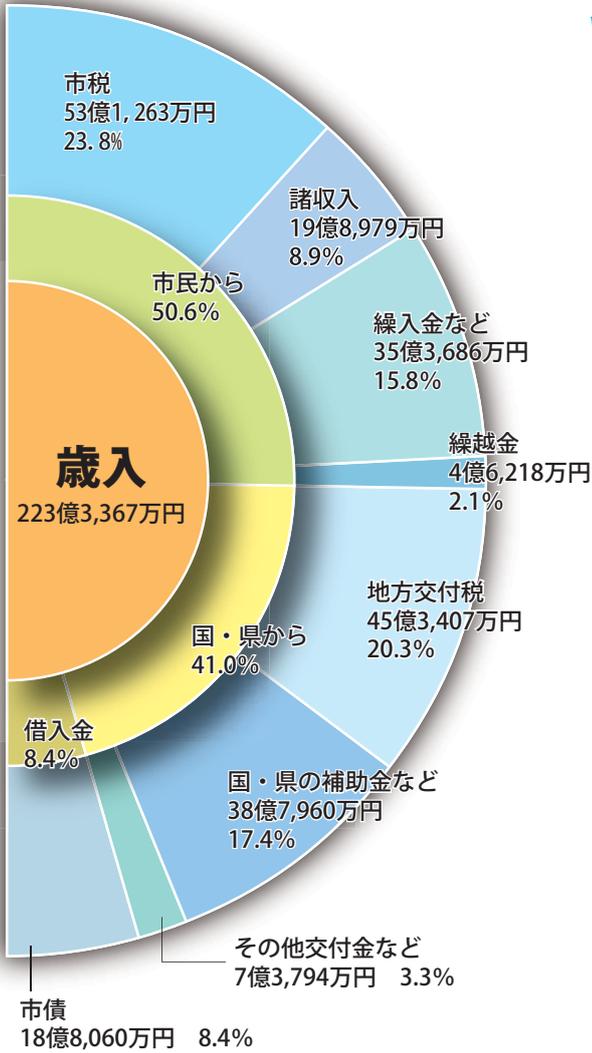


市の財政を見てもよけい



歳入

市民1人あたり
56万6,744円



市税 (市民税・固定資産税など)	13万4,814円
諸収入・繰入金など	14万 245円
繰越金	1万1,728円
地方交付税	11万5,057円
国・県からの補助金など	9万8,450円
その他交付金など	1万8,726円
市債	4万7,722円

一般会計

平成21年度一般会計の収入総額は22億3367万円、支出総額は21億8462万円です。その差額5億2905万円を平成22年度に繰越しました。このうち1億6061万円は平成21年度に完了しなかった工事などの繰越しで、使い道が決まっています。したがって実際の黒字額は3億6844万円となります。

主な事業

- ▽小千谷小学校改築事業……………25億3318万円
- ▽中小企業緊急経済対策資金融資事業……………10億1035万円
- ▽小中学校耐震補強事業……………2億8982万円
- ▽農業基盤等整備事業……………1億4580万円
- ▽新型インフルエンザなどの感染症予防事業……………5500万円

市の財産の状況

市の財産には学校などの土地、建築物のほか、将来実施する事業のための積立金である基金や、有価証券、出資金などがあります。主な財産の状況は下記のとおりです。

主な財産の状況

区分	状況	
公有財産	小学校	11校
	中学校	5校
	保育園	13園
	公営住宅	488戸
	有価証券	2,908万円
基金	出資による権利	7,658万円
	財政調整基金	38億5,890万円
	その他特定目的基金	41億1,630万円

市民1人あたりの金額

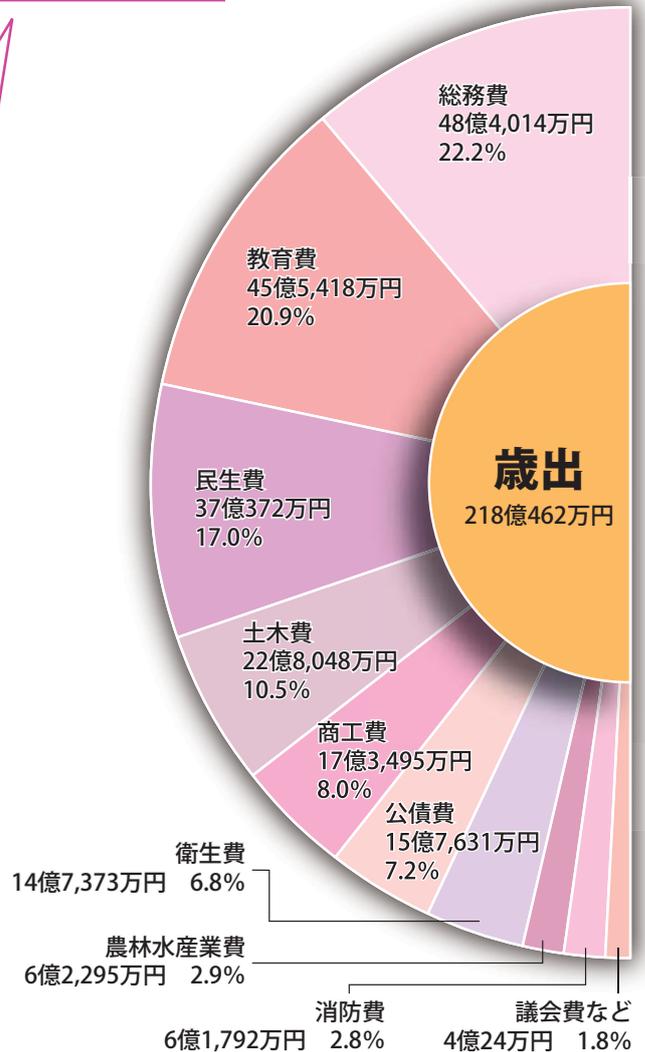
その年度の各総額 / その年度末の市の人口

※それぞれの金額を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

市民1人あたり
55万3,318円

歳出

総務費 (電算化の推進など)	12万2,824円
教育費 (学校の整備や社会教育・社会体育事業など)	11万5,568円
民生費 (高齢者福祉や保育園の整備など)	9万3,986円
土木費 (道路や河川の整備など)	5万7,870円
商工費 (商工業の振興や観光施設の整備など)	4万4,026円
公債費 (市で借りたお金の返済)	4万 1円
衛生費 (健康増進やごみの処理など)	3万7,398円
農林水産業費	1万5,808円
消防費	1万5,680円
議会費など	1万 157円

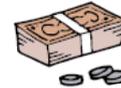


特別会計の状況
特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と分けて管理する会計です。国などからの補助金もありますが、その経費は受益者(サービスを受ける人)が負担することが原則です。下水道特別会計と農業集落排水事業特別会計は、資産の状況を明らかにすることなどを目的として平成22年度から企業会計になりました。

特別会計の決算状況

会計名	歳入合計	歳出合計	差引額
国民健康保険	36億8,288万円	35億2,732万円	1億5,556万円
老人保健	1億3,474万円	1億3,366万円	108万円
下水道	28億2,684万円	27億5,872万円	6,812万円
農業集落排水事業	3億1,250万円	2億9,099万円	2,151万円
介護保険	32億8,494万円	32億4,655万円	3,839万円
後期高齢者医療	6億8,400万円	6億7,690万円	710万円
工業団地事業	1億7,160万円	1億7,130万円	30万円

市債(借入金)の状況
一般会計の残高には、小千谷地域広域事務組合から引き継いだ10億2662万円が含まれています。



市債残高

会計名	市債残高	市民1人あたり
一般会計	149億7,110万円	37万9,910円
特別会計	下水道	36万9,319円
	農業集落排水事業	6万7,369円
	工業団地事業	5,585円
合計	323億9,976万円	82万2,183円

小千谷地域広域事務組合会計
の状況

小千谷地域広域事務組合会計は、組合が平成22年3月30日に解散したことに伴い、平成22年3月30日で打ち切り決算となります。平成21年度は、清流園、時水清掃工場、クリーンスポット大原が今後も円滑に処理ができるよう、施設延命化計画を策定しました。収入総額17億6828万円、支出総額17億5727万円で、その差額1101万円は小千谷市一般会計に引き継がれました。

平成 21 年度決算に基づく財政健全化判断比率・資金不足比率をお知らせします

財政健全化判断比率とは、次の指標で示される財政状況で、一つでも基準を上回ると早期健全化団体や財政再生団体となります。現在の市の状況は、すべての比率が基準を下回っているため健全であるといえます。

健全化判断比率

指標	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.33%	20.00%
連結実質赤字比率	-	18.33%	40.00%
実質公債費比率	15.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	76.1%	350.0%	

*実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合、「-」で表示

資金不足比率

会計	資金不足比率	経営健全化基準
下水道	-	20.0%
農業集落排水事業	-	
宅地造成事業	-	
工業団地事業	-	
ガス事業	-	
水道事業	-	
工業用水道事業	-	

*資金不足がない場合、「-」で表示

【指標・用語の解説】

■実質赤字比率

一般会計等の実質赤字額の標準財政規模に対する比率で、財政運営の深刻度を示す指標

■連結実質赤字比率

すべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率で、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示す指標

■実質公債費比率

公債費の標準財政規模に対する比率の3か年の平均値で、資金繰りの危険度を示す指標

■将来負担比率

一般会計等で将来負担する見込みの債務の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標

■資金不足比率

公営企業会計ごとの事業の規模（料金収入規模）に対する資金不足額の比率で、経営状況の深刻度を示す指標

■標準財政規模

地方公共団体の一般財源（主に市税、普通交付税などの使い道が特定されない収入）の標準規模

■早期健全化基準

財政状況に注意喚起を示す段階の基準値

■財政再生基準

財政再建が必要となる状態の基準値

■経営健全化基準

経営状況が悪化している状態の基準値

小千谷地域広域事務組合会計決算状況

区分	歳入合計	歳出合計	差引額	組合債残高
衛生分	10億 8,738万円	10億 7,900万円	838万円	9億 1,075万円
消防分	6億 8,090万円	6億 7,827万円	263万円	1億 1,805万円
合計	17億 6,828万円	17億 5,727万円	1,101万円	10億 2,880万円

企業会計の状況

企業会計とは、市が直接経営する企業の会計をいいます。経営できる事業は、公共の利益を目的とするもので、特別に定められたものだけです。

小千谷市の場合、ガス事業と水道事業、工業用水道事業があり、平成22年度からは下水道事業も加わりました。平成21年度も、ガス事業会計・水道事業会計・工業用水道事業会計ともに当年度純利益（黒字）を計上することができました。

今後も従来にまして災害に強い施設整備に努めるとともに、年数が経過したガス管や水道管の布設替などを計画的に行い、安心と安全性を高め、サービスの向上と安定した経営に努めます。



企業会計決算状況

会計名	収益	費用	利益	企業債残高
ガス事業	13億 2,465万円	11億 6,682万円	1億 5,783万円	11億 3,940万円
水道事業	7億 6,447万円	6億 7,333万円	9,114万円	27億 2,970万円
工業用水道事業	2億 7,955万円	2億 1,909万円	6,046万円	10億 1,844万円

決算状況や財政健全化比率などについてわからないことがありましたら、気軽にお尋ねください。

■問い合わせ／企画財政課財政係 ☎ 83-3507 ✉ plan@city.ojiya.niigata.jp

小千谷市とJR東日本信濃川発電所との共生について ～共生策（案）にご意見を募集します～

小千谷市と東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR」）は、平成22年3月30日にお互いが共生するための覚書を交わしました。小千谷市は、取り交わした覚書による共生推進のための共生策（案）をJRに対し提案します。

この共生策は、お互いが信頼できるパートナーとして共生するため、相互に協力して必要な施策を実施するものです。すでにJRが主体となって取り組んでいただいているもの、あるいはJRと小千谷市が共同で取り組むものも含まれています。共生は一時的なものではなく、今後、連携していくなかで新たに追加される共生策についても引き続き提案していきます。これからの共生推進のため、市民のみなさんからのご意見を募集します。

共生策（案）の概要

1. 鉄道施設の利便性の向上について

- ①上越線・飯山線の利用促進
- ②山寺踏切の改良整備

2. 産業・経済の振興について

- ①JR関連企業の立地及び商品開発の支援
- ②市内事業所の活用
- ③小千谷市の特産品等の販売促進

3. 観光の振興について

- ①小千谷水力発電記念館（仮称）の整備
- ②山本山の周辺環境整備
- ③情報発信と観光誘客
- ④各種イベント等への協力
- ⑤観光物産展への市内事業者の参画支援

4. 防災と環境保全について

- ①防災協定の締結
- ②森づくり事業

5. 教育・文化の振興について

- ①小千谷水力発電記念館（仮称）の整備（再掲）
- ②文化講演会等の開催
- ③地域の伝統文化、文化財等の保存活動への協力
- ④ふるさと学習と芸術活動の推進

6. 共生の推進について

- ①対話・理解活動の推進
- ②電源三法が適用される発電施設の対象拡大に向けた支援

ご意見を募集します

■募集期間／10月10日（日）～10月25日（月）

■閲覧方法／閲覧・配布場所：市役所（市民ホール）、片貝総合センター、東山・岩沢・真人・川井各住民センター、市民会館、楽集館、総合体育館、勤労青少年ホーム

また、市ホームページ<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>からもご覧いただけます。

■提出様式／住所、氏名（法人その他の団体にあつては所在地、名称および代表者氏名）、電話番号を明記のうえ、備え付けの用紙または任意様式で提出してください。

■提出方法／次のいずれかの方法で提出してください。なお、電話による意見の受付は行いません。

①持参：総務課のほかに、閲覧・配布場所に提出することもできます。

②郵送：〒947-8501（住所記載不要）小千谷市 総務課秘書政策係あて

③ファックス：FAX 83-2789

④メール：soumu-h@city.ojiya.niigata.jp

■意見の公表／個人情報を除き、提出された意見の概要と意見に対する考え方を市報・ホームページで公表します。

■募集対象者／この意見募集は次の方が対象です。

- ①市内に住所がある方
- ②市内に事務所または事業所がある個人・法人、その他の団体
- ③市内にある事務所または事業所に勤務する方
- ④市内にある学校に在学する方

■問い合わせ／総務課秘書政策係 ☎82-3101

震災6周年企画展

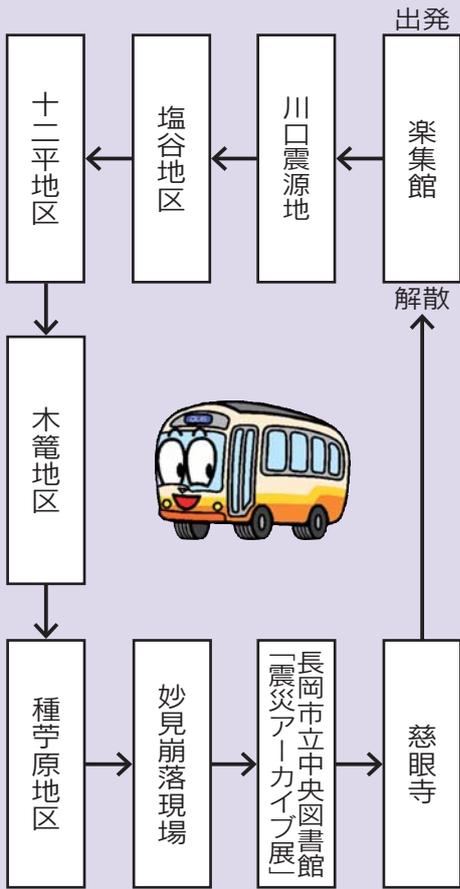
〜中越大震災あの日あの時、今、これから〜

被災の記録やその後の復興活動、支援への感謝の思いなど、忘れてはならないあの時を伝えます。みなさんのご来場をお待ちしています。

- 期間／10月22日(金)〜11月21日(日)午前10時〜午後6時※毎週火曜日は休館日です。
- 会場／楽集館
- 入場無料
- 問い合わせ／▽図書館☎82・2724▽楽集館☎82・8282

被災地まるごとバスツアー

- 日時／11月6日(土)午前9時〜午後4時
- 行程(予定)／道路事情などにより、ルートを変更する場合があります。



- 参加費／1000円(昼食代)
- 定員／先着25人
- 申込受付／10月15日(金)から受付を開始します。電話または図書館の窓口で直接申し込んでください。
- 申込・問い合わせ／図書館☎82・2724

消防団総合演習

市消防団による総合演習が実施されます。消防団員の規律の取れた勇姿をぜひご覧ください。

また、演習開催の合図として午前7時に市内全域にサイレンを鳴らしお知らせしますので、火災と間違えないように注意してください。

- 日時／10月24日(日)午前9時
- 会場／千谷多目的グラウンド
- 問い合わせ／消防本部総務課☎83・0236

義援金へのご協力に感謝

日本赤十字社小千谷市地区では、平成22年7月の大雨により被災された方々を支援するため、義援金を受け付けました。受付状況は次のとおりです。ご協力ありがとうございました。

- 山口県平成22年7月大雨災害義援金 3万 666円
- 平成22年広島県大雨災害義援金 3万1173円
- 問い合わせ／社会福祉課福祉係☎83・3517

上ノ山に新型消防車両を配備!

9月12日(日)、総務省消防庁から小千谷市に無償貸与された救助資機材搭載型消防車両を小千谷市消防団第一分団第一部(上ノ山器具置場)に配備しました。

この車両には、小型消防ポンプをはじめ、エンジンカッター、チェーンソー、手動の油圧カッター、発電機、投光器などの救助資機材が搭載されています。

今後、火災や地震などの災害時に幅広い活用が期待されます。

- 問い合わせ／消防本部警防課☎83・0237





今年の夏、アメリカのオレゴン州から中学生を中心に、8人のお客さまが小千谷へやって来ました。国際交流活動をしている市民の方々のお骨折りにより、毎年、小千谷の中学生とオレゴンの子どもたちが交互に相手方を訪問し、ホームステイをしながら、それぞれの土地での生活を体験したり、また伝統文化などに触れたりしています。

この話は小千谷の受け入れ家族の方からお聞きした話です。アメリカ人の中学生でもやはりまだ子どもなので、小千谷滞在何日目かでホームシックにかかり、シクシクと泣き始めたそうです。しかし、その女の子は泣きながら、「私はこんな自分が嫌いだ」とつぶやいたというのです。自分自身を冷静に見ることのできる力に、私はたいへん感心しました。まだおとなではない若者からこのような言葉が普通に出て来るのは、オレゴンの子供たちの日常を取り巻く宗教的な環境のなせるわざかも知れない、と受け入れ家族のある方がおっしゃっていました。信仰の有無は別として、同じようなことをしっかりとと言える小千谷の子どもたちが多くいて欲しいと思った次第です。

私が若かったころ、たまたま学校の授業で聞いた英語の言い回しですが、今でも常に思い出す言葉があります。それは、「物事を判断する上では自分だけの都合によるものであってはならない、他人の言いなりになるものであってはならない、神の考えに基づくものであるべきだ」というような意味でした。私は信心とは縁の薄いものですから、「神」を「おてんとう様」に置き換えることにしています。自分でもない、他人でもない第三の目を持ちながら生きることの大切さを、オレゴンの中学生に改めて教えられました。

(谷井 靖夫)



●アメリカのオレゴン州からお迎えした子どもたちとの交流会が市民の家で開かれました

作ってみてね！この料理



枝豆とひじきのカクテルサラダ



<作り方>

- ① 玉ねぎは薄切りにして水にさらし、水気を切る。枝豆は茹でてさやから出す。ひじきは水で戻してさっと茹でる。トマトはさいの目切りにする。
- ② 器に①の玉ねぎ、ひじき、枝豆、トマト、カッターチーズの順に重ねて盛りつける。
- ③ Aを混ぜ合わせてドレッシングを作り、②にかける。

📌今月のワンポイント

カッターチーズは、プロセスチーズを細かく刻んで代用することもできます。

■栄養価 (1人分)

▷ エネルギー101kcal ▷ たんぱく質6.2g ▷ 脂質4.8g ▷ 塩分0.9g

<材料> (4人分)

- 玉ねぎ…………… ½個
- 枝豆 (さや付)…………… 100g
- 長ひじき…………… 10g
- トマト…………… 1個
- カッターチーズ…………… 80g
- A {
 - しょうゆ…………… 大さじ1
 - みりん…………… 大さじ1
 - レモン汁…………… 大さじ1
 - ごま油…………… 大さじ1
 - 七味唐辛子…………… 少々

■献立・調理 / 小千谷市食生活改善推進委員

楽しい絵本の世界に大満足！
長谷川義史さん「絵本ライブ」

9月19日(日)、絵本作家長谷川義史さんによる「絵本ライブ」が行われました。

この「絵本ライブ」は、国民読書年を記念し開催されたもので、会場の市民会館には親子連れなど約350人が訪れました。

ライブでは、長谷川さんによる絵本の読み語りや手遊び歌などが行われ、おとなから子どもまで誰もが楽しむことができました。また、ライブ終了後にはサイン会も行われ、訪れたみなさんは大満足の様子でした。



明るい東小千谷の集い

10月2日(土)・3日(日)、

東小千谷体育センターで、「第27回明るい東小千谷の集い・東小千谷総合芸術芸能祭」が行われました。これは、東小千谷地区の公民館5分館が中心となって毎年行われているものです。

2日(土)の芸能発表では、日ごろ練習を重ねた踊りなど、多彩な演目を子どもたちやグループが発表し、会場にはたくさんの方が訪れていました。



西脇正久さんが描く小千谷の風景展

9月23日(祝)～10月17日(日)、「楽集館」で「市報おぢや」の表紙などでおなじみの西脇正久さんの絵画展「小千谷を描く」を開催中です。

この絵画展は、「市報おぢや」への西脇正久さんの絵画「小千谷を描く」連載400回を記念して開催しています。会場には、額装で114点、その他30点以上の作品が展示されています。西脇正久さんが描いた小千谷の風景作品がたくさん見られる貴重な機会ということで、おおぜいのおみなさんが会場を訪れています。



力作がズラリ！科学作品展覧会

9月18日(土)・19日(日)、市民会館で第46回小千谷市児童生徒科学作品展覧会が開催され、市内の小中学生・中学生による作品168点が展示されました。訪れたみなさんは、観察記録や標本など、子どもたちの力作に見入っていました。



広告募集中

市報おぢや・市ホームページでは広告を募集しています。「市報おぢや」の広告掲載料はこの大きさ(縦45.5mm×横82mm)で1枠1回15,000円です。詳しくはお問い合わせください。
■問い合わせ/企画財政課広報広聴係 83-3507

家をつくりつづけて55年
今後ともよろしくお願ひ申しあげます

丸山工務店

代表取締役 丸山 智義

小千谷本社 TEL 82-3242 FAX 82-0580
川口支店 TEL 89-3038 FAX 89-3379
E-mail: maruko-kawaguchi@herb.ocn.ne.jp
http://www2.ocn.ne.jp/~maruko/

有料広告掲載欄です

新潟県ジュニア クロスカントリー大会

9月12日(日)、白山運動公園特設コースで、第10回新潟県ジュニアクロスカントリー大会が行われ、市内外から小・中学生244人が参加しました。

この日は朝から雨で時おり激しく降るといふ悪天候でしたが、雨でびしょぬれになりながら必死で走る選手たちに、沿道の観衆からは大きな拍手や声援が飛んでいました。その後雨はさらに激しさを増し、コースコンディションが悪化したため、午後に予定していた競技、女子クロスカントリー大会とジュニアクロスカントリー大会中学女子の部は中止となりました。



農作業を体験～稲刈り体験ツアー

9月18日(土)・19日(日)、NPO法人グリーンライフおぢやが主催する「おぢや稲刈り体験ツアー」が行われました。

初日は市内外から17人が参加し、池ヶ原地内のほ場で稲刈り体験を行いました。昔ながらの「手刈り」そして「はさがけ」を体験した参加者は、終始楽しそうに作業していました。

2日目はさつまいも掘り体験が行われました。初日の稲刈りにも参加した関東方面からの3家族7人が参加し、山本山の一面に広がるさつまいも畑に出かけました。

参加した家族は、根が強くてなかなか簡単に掘れないさつまいもに苦戦しながらも、都会ではめったに味わえない農作業を楽しんでいました。



巫女爺屋台のお披露目

9月12日(日)、横町屋台人形巫女爺保存会による巫女爺移动式組立屋台竣工パーティーが行われました。

これまでの屋台は出張公演に持つていくことができず、人形のみのお披露目を行ってきたそうです。しかし、この屋台の購入により屋台の組立・移動が容易になったため、本来の屋台で踊る巫女爺の姿をより多くのおなさんへ披露することができそうです。

これからもご活躍に期待しています。



青空の下、小千谷うまいもの祭

10月3日(日)、サンプラザ駐車場で、小千谷商工会議所による「小千谷うまいもの祭」と「これからの住まい展パート6」が行われました。

会場では、餅まきや東小千谷中学校吹奏楽部の演奏などステージでの催しのほか、小千谷のうまいものが一堂に集まり販売されました。この日は晴天に恵まれ、たくさんの方が秋の一日を楽しんでいました。



生ごみ処理機器の購入費を補助しています

市ではごみの減量対策の1つとして、生ごみ処理機器の購入費の一部を下記のとおり補助しています。なお、補助は予算の範囲内で行うため、購入しようとする場合は、事前にご連絡ください。

■補助対象者

次のすべての条件を満たしている場合に補助の対象となります。

- 市内に住所を有し、かつ、居住している方
- 市内に店舗を有する販売店から処理機器を購入する方
- 処理機器を居住場所に設置し、使用する方



△堆肥化容器 (例)

■補助台数

補助対象とする処理機器の数は、1世帯につき、堆肥化容器は2基以内、電動生ごみ処理機は1台です。

■補助金の額など

生ごみ処理機器の種類	補助金額
堆肥化容器	購入金額×½の額（100円未満切り捨て） ※ただし、3,000円が上限。
電動生ごみ処理機	購入金額×½の額（100円未満切り捨て） ※ただし、30,000円が上限。



△電動生ごみ処理機 (例)

■問い合わせ／市民生活課環境衛生係・廃棄物施設係 ☎83-3509

3Rキャンペーン月間です

10月は「3Rキャンペーン月間」です。「マイバッグ」を持参し不要なレジ袋を断るなどのレジ袋削減の取り組みは、身近なエコ活動です。できることから始めてみませんか。

Reduce(リデュース)：減らす
リデュース

ごみを生み出さないように、不要なものを買わない、もらわないようにしましょう。

Reuse(リユース)：繰り返し使う
リユース

まだ使えるものは、捨てないで、何度もくりかえして使おう。

Recycle(リサイクル)：再資源化
リサイクル

捨てるときは、きちんと分けて洗って、大切な資源として生まれ変わりやすいようにしましょう。

■「新潟県レジ袋削減県民運動」に参加しましょう！

一人ひとりが「買い物」段階から生活を見直し、環境にやさしい行動に努めましょう。詳しくは「環境にいがた」ホームページ [URLhttp://www.pref.niigata.lg.jp/kankyo/](http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyo/) をご覧ください。

○携帯電話からもご覧いただけます。携帯版はこちらから →
[URLhttp://mobile.pref.niigata.lg.jp/m/recycle.html](http://mobile.pref.niigata.lg.jp/m/recycle.html)



△レジ袋削減県民運動マスコットキャラクター「エコちゃん」

■問い合わせ／▽市民生活課環境衛生係・廃棄物施設係 ☎83-3509
▽県廃棄物対策課 ☎025-280-5160

平成23年4月1日からごみ処理の有料化が始まります。ご理解とご協力をお願いします。

子ども手当を振り込みます

子ども手当10月期分(平成22年6月～9月分)を、指定の金融機関口座に振り込みます。

■振込日/10月15日(金)

※子ども手当の申請手続きが必要な方で、まだお済みでない方はお早めに手続きをしてください。(公務員は勤務先での手続きになります)

■問い合わせ/社会福祉課子育て支援係 ☎83・3517

子どものメンタルヘルス研修会

～子どもの心ころによりそって～

子どもこのころの健康を考える研修会です。

■日時/11月20日(土)午後1時～4時30分

■会場/

長岡市立中央図書館(長岡市学校町1-2-2)

■内容/

▽第1部「子どもの身体からのSOS」

講師:田中篤さん(長岡中央総合病院小児科部長)

▽第2部「子どもの心からのSOS」

講師:増澤菜生さん(新潟大学教育学部教育科学

講座准教授)

■定員/190人(定員になり次第締切)

■入場無料

■申込期限/電話かファックスで11月12日(金)までに申し込みください。

■申込・問い合わせ/県精神保健福祉協会小千谷地域こころのケアセンター ☎82・0290 FAX 82・0291

おやこの食育教室

小学生の親子を対象に食育教室を開催します。食生活についての学習や調理実習などを通じて食育について学んでみませんか。

■日時/10月31日(日)午前9時～午後1時

■会場/健康センター

■講師/市食生活改善推進委員・市栄養士

■定員/小学生の親子30人

■内容/食生活についての学習、調理実習、会食交流会

■持ち物/エプロン、三角巾、筆記用具

■申込期限/10月25日(月)

■申込・問い合わせ/健康センター保健係 ☎83・3640



うぶごえ教室

出産や育児のための教室です。ご夫婦一緒にの参加も大歓迎です。参加は無料です。

■日時/11月25日(木)午前9時～9時10分受付

■対象/妊婦、1歳未満の子どもの母親や父親など(妊婦体験ジャケットもあります)

■会場/健康センター

■持ち物/母子健康手帳、エプロン、三角巾、お子さんの離乳食、おんぶひも

■申込締切/11月19日(金)

■申込・問い合わせ/健康センター保健係 ☎83-3640

11月

乳幼児の健康診査日程

■問い合わせ/健康センター保健係 ☎83-3640

- ▶会場は健康センターです。発熱や発疹など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。
- ▶乳幼児健診の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
- ▶番号札配布開始時間/午前中に開催の場合:午前8時30分～、午後開催の場合:正午～

健診名	対象	期日	受付時間	持ち物	その他
4か月児健康診査	平成22年6月生まれ	11月11日(木)	13:00～13:10	母子健康手帳、バスタオル、替え用のオムツ	離乳食講習会を同時実施
10か月児健康診査	平成21年12月生まれ	11月10日(水)	13:00～13:10	母子健康手帳、替え用のオムツ	離乳食後期の講習会を同時実施
1歳6か月児健康診査	平成21年4月生まれ	11月24日(水)	13:00～13:20	母子健康手帳	歯科検診を行います。歯をみがいて来ててください。
2歳児歯科検診	平成20年10月生まれ	11月26日(金)	9:00～9:10	母子健康手帳、お子さんの仕上げみがき用歯ブラシ	幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来ててください。
3歳児健康診査	平成19年10月生まれ	11月25日(木)	13:00～13:20	母子健康手帳、目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、採尿した容器	歯科検診を行います。歯をみがいて来ててください。

ガス水道局からの お得な料金プランのご案内

冬期間の料金が一般料金に比べお得になる料金プランをご案内します。

○家庭用温水暖房契約

■対象／家庭でガスによる温水床暖房や温水ルームヒーターをご使用のお客様（居室での使用に限ります）

■適用期間／12月分～翌年4月分（5月分～11月分は一般料金となります）

■暖房用の専用ガスマーターの設置は必要ありません。

■暖房以外でご使用のガス料金もまとめてお得になります。

○融雪契約

■対象／ガスによる屋根融雪やロードヒーティングをご使用のお客様（家庭・商業用などの用途は問いません）

■適用期間／12月分～翌年3月分（4月分～11月分の使用量が発生しない月は料金は発生しません。ただし、機器のメンテナンスなどにより使用量が発生した場合は、一般料金となります。）

■融雪用の専用ガスマーターの設置が必要です。配管工事などが必要な場合、工事費はお客様負担となります。

□その他／既に機器を設置しているお客様の場合は、現地を確認させていただきます。

□申込・問い合わせ／ガス水道局業務課業務係 ☎82・4115

2010 国勢調査

調査票の提出はお済みですか？

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人が対象です。回答がお済みでない場合は、期限が過ぎていきますので早めに調査票への記入、提出をお願いします。

また、万一調査票が届いていない場合は、国勢調査実施本部へご連絡ください。

■問い合わせ／小千谷市国勢調査実施本部（市役所内）

☎83-4132



市民芸能まつり

■日時／10月24日(日)午前11時～(10時開場)

■会場／市民会館

■入場無料

■出演団体／美鈴会、悦美会、すばるの会・らんの会、松崎会小千谷支部、出雲流めぐ美会、小千谷伝統民踊保存会ちぢみ、瑠美の会、扇秀会、東や、小雪会、深雪会、出雲流藤和会、片貝民踊の会、小千谷民踊子すずめ会、NEON DANCEアカデミー、秀桜会、豊舟会、10balls、裕彩会、MORI・school&Piece Crew、城内民踊サークル、吉谷長命会芸能部、樗若、キッズアカデミー、小千谷民謡穂波会、富久寿大学民踊クラブ、YOSAKOIチーム城内、北四会、阿波踊りおぢや連

■問い合わせ／生涯学習スポーツ課公民館係（市民会館内）☎82-9111

第30回片貝総合文化展

■日時／11月2日(火)～3日(水)午前9時30分～午後8時（3日(水)は午後3時まで）

■会場／片貝総合センター

■展示内容／美術展、陶芸展、生け花展、押し花展、写真展、クラブ作品展、菊花展、片貝伝統の文化・産業展、小・中学生徒作品、個人出展作品

■入場無料

■問い合わせ／片貝公民館（片貝総合センター内）☎84-2026

第30回小千谷市展・第44回総合文化展

○小千谷市展

■日時／10月31日(日)～11月3日(水)午前9時～午後6時（3日(水)は午後5時まで）

■会場／東小千谷体育センター（勤労青少年ホーム隣接）

■展示内容／日本画、水墨画、洋画・版画、書道、写真、工芸・彫塑

■入場無料

○総合文化展

■日時／10月31日(日)～11月3日(水)午前9時～午後6時（3日(水)は午後3時まで）

■会場／老人憩いの家白寿荘（勤労青少年ホーム隣接）

■展示内容／菊花展、盆栽展、拓本展、文化協会展

■入場無料

□問い合わせ／生涯学習スポーツ課生涯学習係（総合体育館内）☎83-0077



■まちのうごき（9月30日現在）

人口と世帯数 ※（ ）内は前月比				気象データ9月		消防本部出動状況		交通事故発生状況				
				22年9月	過去10年の平均	22年9月まで	21年9月まで	22年9月まで	21年9月まで			
男	19,401人(-7)	出生	27人	平均気温	22.3℃	21.8℃	火災	13件	24件	件数	102件	99件
女	19,940人(+9)	死亡	35人	最高気温	36.4℃	35.4℃	救急	1,016件	994件	死者	4人	3人
合計	39,341人(+2)	転入	61人	最低気温	12.2℃	11.5℃				傷者	126人	124人
世帯数	12,623世帯(+14)	転出	51人	降水量月計	350.5mm	163.4mm	◀気象データは、小千谷市消防本部速報値（観測地：元中子）					

第4回学びのサロン西脇順三郎

- 日時／10月17日(日)午後2時～3時30分
- 会場／図書館3階西脇順三郎記念室
- 内容／講演「お順さまと私とのかかわり」
- 講師／山崎忠一さん（西脇順三郎を偲ぶ会副会長）
- 問い合わせ／図書館☎82・2724

第2回プチどんぐりフェスタ

- 西脇詩という豊穡の世界をあなたのものにしませんか。
- 日時／11月7日(日)午後2時～4時
- 会場／楽集館3階大ホール
- 内容／●第1部：▽午後2時～ビデオ鑑賞▽午後2時30分～詩集『アムバルワリア』の暗誦コンテスト
- 第2部：▽午後3時～チェロ演奏と詩集『アムバルワリア』朗読のコラボレーション（チェロ奏者：片野大輔さん／朗読：西脇フサ子さん、羽鳥悦子さん）
- 入場無料・申込不要
- その他／このフェスタで、詩集『アムバルワリア』中、短い三編の詩の暗誦と発表会を開催します。入賞者には賞品がありますのでふるって参加ください。「応募要領」など詳細は図書館内『西脇順三郎を偲ぶ会』事務局まで。
- 問い合わせ／西脇順三郎を偲ぶ会事務局（図書館内）☎82・2724

第8回まつと「秋の陣」

- 日時／10月31日(日)午前10時～
- 会場／真人トレーニングセンター周辺
- 内容／▽地元芸能団体の発表▽地元特産品などの販売▽餅つき大会・とん汁の無料配布（なくなり次第終了）
- 入場無料
- 問い合わせ／真人住民センター☎86・3002



農林水産祭参加 第50回新潟県錦鯉品評会

- 原産地越後の秋を飾る新潟県錦鯉品評会が今年も当市で開催されます。県内の生産者が丹精こめて育ててきた錦鯉が出品され、優秀鯉が決定されます。ぜひお越しください。
- 一般公開／10月30日(土)審査終了後（午後4時～5時、31日(日)午前8時～午後3時）
- 会場／総合体育館コミュニティプラザ
- 入場料／500円（小学生以下無料）
- 主催／新潟県、(社)新潟県錦鯉協議会
- 主管／小千谷市、新潟県錦鯉品評会実行委員会
- 問い合わせ／(社)新潟県錦鯉協議会☎41・1405



重点分野雇用創造事業拡充に伴う説明会の開催

- 国では、雇用を柱とした「経済対策」を策定し、この中に「重点分野雇用創造事業の拡充」が盛り込まれました。この事業には、市が直接行う事業と、市が事業所などに委託して行う事業があります。
- 国から準備を進めるよう通知がありましたので、委託事業に関心のある事業所などは、次の説明会に参加ください。
- なお、事業費の拡充は予定されているもので、確定したものではありません。
- 事業の名称／重点分野雇用創造事業（介護、医療、農林、環境、エネルギー、産業振興、健康福祉、地域社会雇用などの分野）
- 事業（雇用）期間／平成23年4月～平成24年3月（1年間）
- 事業費／原則として500万円以下（対象事業費は、市が全額委託費として支払います）
- 雇用者／失業者、未就職卒業生
- 事業採択／最終的には、新潟県の審査を経て事業採択されます。
- 説明会日時／10月22日(金)午後1時30分～（国から実施要領が示されない場合は、日程を変更することがあります）
- 申込／説明会に参加される事業所等は、10月19日(火)までに下記へお申込みください。
- 問い合わせ／商工観光課商工振興係☎83-3512 FAX83-0871 mail:kanko@city.ojiya.niigata.jp



小千谷を描く No. 401 楽集館の広場にて

今回わたくしの市報400回連載の展覧会を市で企画していただき感謝いたしております。

会場につめていたため、スケッチを楽集館の広場で描きました。上ノ山5丁目の船岡山高台の家々を見上げると、ついこの間の炎暑の空がうそのように秋空へと変わり、さわやかな空気を感じるようになっていました。

スケッチの最中に赤とんぼのはしりの一羽を発見。赤とんぼ羽根がもげたらとんがらし、何てなことを思わず口ずさみました。

(絵と文は西脇正久さん)

ちぢみの里の利用券が当たる

広報クイズ

解答をはがきでお送りください。正解者の中から、抽選で3人にちぢみの里の利用券を贈呈します。市報おぢかの感想もあると担当はうれしいのですが…

問題 10月は「3Rキャンペーン月間」です。「3R」とは、『リデュース』『リユース』あとひとつは何でしょう。
①リラックス ②リサイクル ③リセット (ヒントは12ページ)

応募先

〒947-8501小千谷市役所企画財政課
広報広聴係あて (住所不要)

締切

10月25日(月) (当日消印有効)
9月号の答えは、③「22団体」でした。
抽選の結果次の方が当選しました。
安部徹さん 黒崎アツ子さん
柳田政利さん

編集後記

●さわやかな秋の風を感じる季節となりました。

文化の秋、スポーツの秋、食欲の秋など秋はいろいろな言葉を付けて表現されます。みなさんの秋はどんな秋でしょうか。

「ご覧になった方もいらしゃると思いますが、先日、市報おぢかでの「小千谷を描く」連載400回を記念する西脇正久さんの楽集館での絵画展を取材しました。会場には、身近な風景、どこかで見えた風景、懐かしい風景などさまざまな思いを抱かせる小千谷の四季の景色が並んでいました。小千谷の自然のすばら

しさを感じた秋の一日でした。

●あれほど暑かった日々は過ぎ、最近ほめつくり秋らしい涼しい日が続いています。この環境の激変に戸惑いながらも、嬉しさもひとしお、でも体調管理には気をつけたいと思う今日このごろです。

秋といえば…文化の秋、スポーツの秋、食欲の秋、どれをとってもいい響きですね。特に私は食欲の秋、B級グルメのブームに乗って、県内外、噂の「当地自慢を満喫できれば、なんて思っています。小千谷のB級グルメって何かなって、最近真剣に

考えてます。

●先月に引き続き、お祭りの写真選びに悩まされました…。撮っている時は「今のいいかも」と思っているのですが、いざ選ぶ時には「あれ?」と。なかなか気に入る写真は撮れないもので、相変わらず格闘しています。

話題は変わりますが、急に涼しくなったので急いで秋物を引っ張り出しました。子ども服のズボンがつつんでん…嬉しいことだけ切ないです。子ども服を買いつつ、すっかり自分の物も買ってしまう自分も…また切ないです。